新井　浩文 あらい　ひろぶみ	日本中世史・アーカイブズ学	①　経歴・職歴 県立博物館（現歴史と民俗の博物館）、教育局生涯学習文化財課、県立文書館古文書・史料編さん担当、県立歴史と民俗の博物館企画・学習支援担当、資料調査・活用担当、県立文書館主席学芸主幹を経て、現在、県立文書館史料編さん担当学芸主幹 。 ②　過去の業務実績 展示 H10「友山と武香−胄山根岸家文書の世界−」　H22「中世文書の世界−鎌倉・室町時代の文書−」 H23「渋沢栄一と埼玉の近代−創業期の日本煉瓦製造株式会社−」　H25「中世文書の世界Ⅱ－戦国時代の文書」 H26「中世文書の世界Ⅲ－館有文書あらかると－」　H29「関東管領上杉氏と埼玉の戦国武将」(歴史と民俗の博物館共催) H29「鉢形城主北条氏邦」(歴史と民俗の博物館共催)　H30「古文書 大公開！−みる・よむ・しらべる埼玉−」 R2 「新収集品展2018・2019」 R3 「文書館常設展示 未来へつたえる」 R4 「坂東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」 R6「みんなの学校−教育史編さんと学校アーカイブズ−」 講演 H23 歴史講座「忍城と戦国武蔵の終焉」(さきたま史跡の博物館)　H25「埼玉県立文書館の鉢形関係文書」(鉢形城歴史館) H26「北条氏邦の新出文書」(鉢形城歴史館)　H28「戦国時代の糟壁・関宿・岩付」(春日部市郷土資料館) H28「はじめての古文書読解」(鴻巣市民大学講座)　H29「埼史協の取り組みと成果について」(鳥取県立公文書館) H29 さいたま市民大学「戦国時代の岩付」(シーノ大宮) H30 ミュージアムカレッジ2018「埼玉・古文書・あらかると」(歴史と民俗の博物館) H30 歴史講座「関宿城と中世利根川水運」(嵐山史跡の博物館) R1　企画展講演会「岩付太田氏とその家臣たち」(足立区立郷土博物館) R1　特別展講演会「太田資正と関東の動乱」(横浜市歴史博物館) R1　第30回保存フォーラム「地域史料の防災対策」(国立国会図書館) R2 「熊谷氏のその後－熊谷家系図の謎－」(熊谷市立図書館) R2 「戦国時代の忍城と成田氏」(さいたま文学館) R3 「戦国の忍びを考える－武蔵国での戦いをめぐって－」(嵐山史跡の博物館)
	戦国時代の領主支配と流通	

R3 「はじめての古文書」(伊奈町立図書館)
R4 「古文書から読み解く埼玉の戦国武将」(彩の国ビジュアルプラザ)
R5「川口の中世」(川口市郷土史会)
R6「戦国時代の利根川水運-柿木川戸を中心に-」(草加市歴史民俗資料館)
論文等
H24 『関東の戦国期領主と流通』(岩田書院)　H26「成田氏による忍領形成と河川」(『埼玉地方史』70)
H27「長林院一太田氏資の室一」(『北条氏康の子供たち』宮帯出版)
H28「地方文書館の役割と民間アーカイブズ」(『社会変容と民間アーカイブズ』勉誠出版)
H28「埼玉県立文書館所蔵史料を用いた授業モデル-高校生に向けた文書館利用の取り組み-」(『文書館紀要』30)
H29「地方史研究と地域史料調査会」(『地方史研究』392)　H30『さきたま文庫　慈恩寺(改訂版)』(さきたま出版会)
H30 共著「古文書 大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉- 」展示報告(歴史と民俗の博物館『紀要』13)
H30 共著「丹党岩田氏に関する新出史料」(『文書館紀要』32)
R1 「織豊政権と太田三楽斎道誉父子」(『戦国・近世初期西と東の地域社会』岩田書院)
R1 「【資料紹介】嶋田秀順・木下秀吉連署奉書について」(埼玉県立歴史と民俗の博物館『紀要』14)
R2 「河川台帳に遺されていた幻の中世城郭を追う」『日本の歴史を解きほぐす』(文学通信)
R2 「利根川東遷再考－戦国期の河川普請から－」(『埼玉の文化財』61
R3 「史料保存利用問題と文書館の今日－平成～令和へアーキビスト元年に想う－」(『三郷市史研究　葦のみち』31)
R3 『久喜市の歴史と文化財2　鷲宮神社』(久喜市教育委員会)
R4『史料纂集　安保文書』(共著・八木書店)
R4『旧国中世重要論文集成　武蔵国』(編著・戎光祥出版)
R4 「埼玉県立文書館における高校生と教員のためのコンシェルジュ―新学習指導要領からのアプローチに応える―」(『文書館紀要』36)
R5 「学校アーカイブズ研究ノート」(『文書館紀要』37)
R6『文書館のしごと-アーキビストと史料保存-』(吉川弘文館)
③ 研究業績等
戦国期の県内領主や河川流通に関する研究のほか、認証アーキビストとしてアーカイブズ学に関する研究も続けていきたいと思います。
④ メッセージ
戦国時代の研究のほか、史料に関する保存管理や県内各地域との史料保存ネットワークにも関心があります。
⑤ その他
趣味は、軽登山と酒蔵探訪。

駒見　敬祐 こまみ　けいすけ	日本中世史	①経歴・職歴 令和2年4月～令和6年3月　埼玉県立文書館　史料編さん担当 令和6年4月～令和7年3月　埼玉県立歴史と民俗の博物館　資料調査・活用担当 令和7年4月～　埼玉県立歴史と民俗の博物館　常設展示・資料担当 ②過去の業務実績 R3　企画展「古物を伝える－好古家たちの埼玉－」展示主担当（文書館） R4　企画展「板東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」展示主担当（文書館） R4　嵐山×文書館　企画展記念講演会「武蔵武士の中世～鎌倉から室町へ～」講演 R4　文書館歴史講座「板東武者の生きざま～文書館収蔵資料からみる埼玉の中世」講師 R5　企画展「菩多尼訶（ボタニカ）－本草学から植物学へ－」展示主担当（文書館） ③著作・研究実績等 R2 「鎌倉公方の発給文書」「犬懸上杉氏の発給文書」（黒田基樹編『鎌倉府発給文書の研究』戎光祥出版） R3 「宇都宮公綱」「伊達行朝」「結城宗広・親朝・親光」（『南北朝武将列伝　南朝編』戎光祥出版） R3 「十五世紀における安保氏の動向～安保文書の年代比定をめぐって～」（『文書館紀要』34） R3 「岩松直国」「上杉憲顕」「河越直重」（『南北朝武将列伝　北朝編』戎光祥出版） R3 「「鎌倉府」の盛衰を左右した幕府・鎌倉公方の対立」 （久水俊和編『「室町殿」の時代－ 安定期室町幕府研究の最前線－』山川出版社） R4 「上杉四家の関東支配をめぐる争乱」（渡邊大門編『諍いだらけの室町時代』柏書房） R5 「享禄の高基・晴氏抗争」「河越合戦と足利晴氏」（黒田基樹編著『足利高基・晴氏』戎光祥出版） R5 「埼玉県立文書館収蔵資料にみる「害虫」の誕生」（『文書館紀要』36） R6 「戦国時代のはじまりを告げる長尾景春の乱―長尾景春 VS 上杉顕定」（『歴史研究』〈戎光祥出版〉719） R6 「十五世紀関東の戦乱と武蔵武士」（『文書館紀要』37） R7 「長享の乱における古河公方足利政氏～政氏の山内上杉陣営への転向をめぐって～」（『紀要（埼玉県立歴史と民俗の博物館）』19） ④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 歴史と民俗の博物館勤務2年目です。今年度から常設展示も担当します。埼玉県のアツい中世史の魅力を発信できるようにがんばります！ ⑤その他 趣味は昆虫を中心に自然に触れることと、各地の城を巡ること。100名城スタンプラリー。
	南北朝～室町時代の関東政治史、特に鎌倉府について	

関口　真規子 せきぐち　まきこ	日本中世史	①経歴・職歴 埼玉県立文書館（公文書担当を経て古文書担当）、埼玉県立歴史と民俗の博物館（展示担当）、 埼玉県立文書館（公文書担当を経て古文書担当）を経て文化資源課博物館・美術館担当。 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課を経て嵐山史跡の博物館（学芸担当） ②過去の業務実績 H27　特別展「戦国図鑑」運営（歴史と民俗の博物館） H28　企画展「高麗郡一三百年－物と語り－」（歴史と民俗の博物館） H29　特別展「上杉家の名刀と三十五腰」（歴史と民俗の博物館） H30　企画展「古文書 大公開！」（文書館・歴史と民俗の博物館） H30　歴民講座「紙から知る、古文書」講師（歴史と民俗の博物館） H30　展示「埼玉の人物　飯野喜四郎」（歴史と民俗の博物館） R1　展示「埼玉の“ふみくら”」（文書館） R2　展示「花押と印章×サインとはんこ」（文書館） R5　企画展「武蔵武士の食と信仰－食べて 祈って 戦って－」（嵐山史跡の博物館） ③研究業績 H21 『修験道教団成立史』（勉誠出版） H23 「三宝院門跡と「修験道之管領」」（永村眞氏編『中世寺院の仏法と社会』、勉誠出版） H27 「当山派」（時枝務・長谷川賢二・林敦編『修験道史入門』、岩田書院） H28 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項〈上〉」（『紀要』11号　歴史と民俗の博物館） H29 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項〈下〉」（『紀要』12号　歴史と民俗の博物館） R1　近代文書の保存・活用のための修理に関する一試論　－埼玉県行政文書を中心に－ （アーカイブズ研修Ⅲ 修了研究論文） R3　「「義演准后日記」とその紙背文書」（『中世寺院の仏法と社会』永村眞編、勉誠出版） R5　講演「日本九峰修行日記で辿る近世関東の霊山－とある修験者のまなざし－」（公益社団法人日本山岳会埼玉 支部等） R6　研究ノート「企画展開催と博学連携における一試論」（埼玉県立史跡の博物館研究紀要第18号）ほか ④メッセージ より多くの県民の方に、嵐山史跡の博物館に足を運んでいただけるよう努めます。 ⑤その他 当山派三十六先達寺院の御朱印を集めています。もう少しで目標達成できそうです。
 ・宗 教 史 ・古文書学		

根ヶ山　泰史 ねがやま　やすふみ	日本中世史	① 経歴・職歴 H23～　歴史と民俗の博物館学芸員 H25～　生涯学習文化財課主事、主任 H30～　歴史と民俗の博物館学芸員、主任学芸員 R06～　文書館主任学芸員 ② 過去の主な業務実績 H24　特別展「大名と藩―天下泰平の立役者たち―」運営（歴史と民俗の博物館） H30　企画展「古文書 大公開！―みる・よむ・しらべる埼玉―」運営（歴史と民俗の博物館） H30　特別展「ダムと変わる！私たちの暮らし」運営（歴史と民俗の博物館） R04　企画展「埼玉武術英名録」運営（歴史と民俗の博物館） R05　特別展「鉢形城主 北条氏邦」企画（歴史と民俗の博物館）　ほか ③ 主な研究業績等 H23 「鎌倉期における「悪党」の語義変化」史林第94巻2号　史学研究会 H25 「近現代公印制度の成立史―埼玉県印を主な事例として―」埼玉地方史第68号　埼玉県地方史研究会 H27 「丹党中村氏・大河原氏西遷の基礎的考察」紀要第10号　歴史と民俗の博物館 H30 「丹党岩田氏に関する新出史料」（共著）文書館紀要第32号　埼玉県立文書館 R02 「「成田家資料」の紹介」紀要第15号　歴史と民俗の博物館 R05 『日本史のなかの埼玉県』（共著）　山川出版社 「法養寺薬師堂内墨書の調査報告」紀要第17号　歴史と民俗の博物館　ほか ④ メッセージ 文書館勤務2年目です。古文書目録の編集や企画展「北武蔵の剣術」などを担当します。 ⑤ その他 目下2児の育児に奮闘中。趣味は旅行、武道、博物館・史跡めぐりです。
	鎌倉・南北朝時代の政治と社会	

森内　優子 もりうち　ゆうこ	日本中世史	① 経歴・職歴 県立博物館・県立歴史資料館・県立文書館、県庁勤務を経て、現在、歴史と民俗の博物館勤務。 ② 過去の実績 H11 特別展「ゆ　～お風呂の文化史～」企画・運営・図録執筆（県立博物館） H17 資料紹介展示「親子で学ぶ 埼玉近現代の災害　～被害のようすと県のはたらき～」（県立文書館） H19 収蔵文書目録「坂本家文書目録」編集（県立文書館） H27 重要文化財公開展「SAITAMA食べものヒストリー」（県立文書館） H28 重要文化財公開展「埼玉県庁舎ものがたり　－文書と写真でたどる145年のあゆみ－」（県立文書館） ③ 著作・研究実績等 H15「畠山国清の乱における安保泰規の動向について」（武蔵野第79巻第2号） H16「東国内乱期における安保氏の立場について－常陸国下妻荘小嶋郷の宛行と還補をめぐって－」（文書館紀要第18号） H19「熊谷直実の出家に関する一考察　－問注所の移転をめぐって－」（文書館紀要第21号） H29「収蔵資料にみる埼玉県庁舎の歴史　－重要文化財公開展の開催をとおして－」（文書館紀要第31号） ④ メッセージ 今年4月の異動で、25年ぶりに大宮公園にある歴史と民俗の博物館勤務となりました。たくさんの資料をさまざまな角度からご紹介する展示や、藍染め、まが玉、組紐などの体験ができる工房など、埼玉県のさまざまな「すごい！」を集めてお待ちしております。大人から子供までお楽しみいただける博物館をめざして、頑張ります！
	鎌倉～南北朝時代の政治史・社会史	

青木　裕美 あおき　ひろみ	日本中世史	① 経歴・職歴 令和４年度　新規採用 令和４～５年度　埼玉県立文書館公文書担当 令和６年度～　埼玉県立文書館古文書担当 ② 過去の実績（調査・展覧会運営・講演会等） 【展覧会】 平成29年度 「織田信長と上野国」（群馬県立歴史博物館） 主担当 平成30年度 「綺羅美耀２」（群馬県立歴史博物館） 主担当 令和元年度 「空からグンマを見てみよう－国絵図・城絵図・町村絵図－」（群馬県立歴史博物館） 主担当 令和４年度 「坂東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」（埼玉県立文書館）副担当 「感染症と対策の歴史－祈りから『いのり』へ－」（埼玉県立文書館）主担当 令和５年度 「SAITAMA－記録資料から震災を読み解く－」（埼玉県立文書館）主担当 「タイムスリップ～埼玉空の旅～」第３期「水と緑」（埼玉県立文書館）担当 令和６年度 「天体観測－歴史のなかの星と人びと－」（埼玉県立文書館）主担当 【講演会等】 令和３年度 「長尾顕長とその時代」 （足利市立美術館、足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美」記念講演会） 令和５年度 「疫病と対策の歴史―埼玉県の事例を中心に―」 （埼玉県文化財保存協会、第68回文化財講習会「災害に学ぶ―関東大震災から100年を迎えて―」） ③ 著作・研究業績等 【研究論文等】 「冨岡文書の伝来について」（『群馬文化』第294号、平成20年） 「寛文上野国絵図の基礎的考察－前橋市立図書館所蔵『上野国絵図』をめぐって－」（『双文』vol.33、平成28年） 「八木家文書とその伝来について」（『群馬県立歴史博物館紀要』第39号、平成29年） 「下川文書とその伝来について－楫取素彦と加藤清正関係文書を中心に－」 （『群馬県立歴史博物館紀要』第40号、令和元年） 「織田政権と上野国」（江田郁夫・簗瀬大輔編『中世の北関東と京都』、高志書院,令和２年） 「史料紹介　就御絵図之儀諸事覚帳（大日方家文書）」（『群馬県立歴史博物館』第42号、令和３年） 「長尾顕長とその時代」（足利市立美術館、「戦国武将 足利長尾の武と美」展示図録、令和３年） 「史料紹介　黒澤文書とその伝来について－上武国境山間地域における地侍の基礎的考察－」

・中近世移行期の地域社会
・文書の伝来
・絵図

		（『群馬県立歴史博物館紀要』第44号、令和5年） 「疫病と対策の歴史―埼玉県の事例を中心に―」（『埼玉の文化財』第64号、令和6年） 「正保武蔵国絵図の基礎的考察（一）―近世初期上武地域における国境認識をめぐって―」（埼玉県立文書館『紀要』第38号、令和7年） 【著作（共著）】 『戦国史－上州の150年戦争－』（上毛新聞社、平成24年） 『ぐんまの城30選－戦国への誘い－』（上毛新聞社、平成28年） 『戦国人－上州の150傑－』（上毛新聞社、令和3年） 『群馬の歴史資料を未来へ－ぐんま史料ネット事始め－』（群馬歴史資料ネットワーク編、令和3年） 【自治体史】 館林市史資料編第2巻中世『佐貫荘と戦国の館林』（館林市、平成19年） 館林市史特別編第4巻『館林城と中近世の遺跡』（館林市、平成22年） 館林市史通史編第1巻『館林の原始・古代・中世』（館林市、平成27年） ④　今年度の取組・抱負・メッセージ 戦国時代から江戸時代初期の地域社会、古文書や絵図の研究をしています。 埼玉県の学芸員となり、4年目を迎えました。

大橋　毅顕 おおはし　たけあき	日本近世史	①　経歴・職歴 文書館、文化資源課、文書館を経て、歴史と民俗の博物館勤務 ②　過去の業務実績 H27 収蔵文書目録第55集『飯塚家文書目録』編集 H28「新公開　飯塚家文書展－深谷と歩む－」（平成28年6月～10月） H30 人物展「本庄宿の豪商　戸谷半兵衛」（平成30年4月～7月） H30 企画展「古文書 大公開！－みる・よむ・しらべる埼玉」（平成30年7月～9月） R1 『埼玉県指定文化財調査報告書』第28集編集 R3 企画展「埼玉の黎明－渋沢栄一が目指した社会－」（令和3年9月～11月） R3 収蔵文書目録第60集『古沢家文書目録（2）』編集 R4 企画展「新収集公開文書 古沢家文書展－近代熊谷の発展に尽くした名士」（令和5年3月～5月） ③　研究業績等 H26「忍藩阿部家の江戸屋敷」（『文書館紀要』第28号） H27「将軍綱吉の阿部邸御成り」（『文書館紀要』第29号） H28「本庄宿戸谷家の柳河藩立花家への大名貸」（『文書館紀要』第30号） H29「本庄宿戸谷家の小城藩鍋島家への大名貸」（『文書館紀要』第31号） H29「忍城主阿部家の江戸藩邸と将軍御成り」（『行田市郷土博物館研究報告』第9集） H29「文書調査員制度の成果と課題」（『自治体史編さん以降の地域史料管理』） H29「民間所在文書の散逸とその対策」（『アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文』平成29年度） H30「平成30年度企画展「古文書 大公開！－みる・よむ・しらべる埼玉－」展示報告」 （『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』第13号）、分担執筆 H30「元禄期の経済政策と幕府為替御用」（『文書館紀要』第32号） R1「本庄宿戸谷家の富山藩・七日市藩前田家への大名貸」（『文書館紀要』第33号） R2「中山信吉の事績と文化財」（『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』第15号） R3 企画展図録「埼玉の黎明－渋沢栄一が目指した社会－」（埼玉県立文書館） R3「渋沢栄一の関東人撰御用」（『文書館紀要』第35号） R4「埼玉県立文書館における古文書講座の意義」（『文書館紀要』第36号） R5「企画展「新収集公開文書古沢家文書－近代熊谷の発展に尽くした名士－」の成果と課題」 （『文書館紀要』第37号） R6「将軍綱吉と岩槻藩主松平忠周」（『歴史と民俗の博物館紀要』第19号） ④　メッセージ 元禄時代、大名貸、藩財政、武家屋敷などに興味があります。 ⑤　その他 JCA2020036　認証アーキビスト
	近世御用商人の領主金融	

加藤　光男 かとう　みつお	日本近世史	① 経歴・職歴 県立博物館（歴史と民俗の博物館）・歴史資料館（嵐山史跡の博物館）・文書館などを経て、現在、文学館勤務 ② 過去の業務実績（抄録）　＊頭の年は年度を示す a) 展覧会：H4 鯰絵　－鯰が躍れば世も動く－ ・H9 埼玉の札所めぐり（県立博物館）、H15 川の関所と船橋・ H16 なまず・鯰・ナマズ大集合！（川の博物館）、 H18 武者小路実篤と新しき村・靴が鳴る♪（文学館）、H23「鎌倉街道」をゆく（嵐山史跡の博物館）、H26 江戸の街道（歴史と民俗の博物館）、H28 戦国を生き抜いた武将たち・H30 越山 ― 上杉謙信侵攻と関東の城 ―・R 2境目の城（嵐山史跡の博物館）、R3 旅する文学・R4 金田一耕助さん！埼玉で事件ですよ・R5 澁澤龍彦の文学世界　― 〝ドラコニア〟への航海 ―・R6 中世・近世の文学でたどる〝埼玉〟（さいたま文学館）など b) 報告書等：H12「古道を歩く　―鎌倉街道歴史探訪―」（歴史資料館）・H27「鯰絵」（歴史と民俗の博物館）など ③ 著作・研究実績等（抄録）　＊頭の年は年度を示す a) 澁澤龍彦（埼玉ゆかりの文学者①） R4 埼玉ゆかりの文学者　― 三島由紀夫・澁澤龍彦 ―（さいたま文学館講義） R5 澁澤龍彦と三島由紀夫の交流（さいたま文学館企画展特別講演） R5「澁澤龍彦おぼえがき　― シャルル・ペロー作「赤頭巾ちゃん」の翻訳をめぐって ―」（『さいたま文学館紀要』第4号） **R6「澁澤龍彦のエッセイ「万博を嫌悪する」によせて」（『さいたま文学館紀要』第5号）** b) 横溝正史（埼玉ゆかりの文学者②）・金田一耕助 R4『女王蜂』の世界を堪能する（さいたま文学館企画展特別講演） R4「金田一さん！信州で事件ですよ」（「週刊新潮」通巻3371号） R4「横溝正史原作・金田一耕助を検証する」（『さいたま文学館紀要』第3号） R5 ミステリー文学における横溝正史の位置づけ　―松本清張との比較を通して―（埼玉県立久喜図書館講演会） R6 金田一耕助と明智小五郎　―正史と乱歩のあゆみ―（杉並区立下井草図書館講演会） c) 錦絵（浮世絵）が果たした役割 H12「浮世絵を読み直す　－ 江戸っ子のマスメディア ―」（歴史資料館『研究紀要』22号） H16（共著）『江戸の文学から浮世絵・錦絵まで　原点で楽しむ江戸の世界』 H24「天保期以降の出版メディアの特質とその流通」（『関東近世史研究』51号） d) 鯰絵　－震災後の世相を報じた錦絵 ― H5「鯰絵に関する基礎的考察　― その種類と異版 ―」（県立博物館『紀要』18号） H7「鯰絵総目録　写真・翻刻・解説」（宮田登・高田衛監修『鯰絵　震災と日本文化』） H16 「鯰絵再考　研究の整理と新資料の紹介」（川の博物館『紀要』5号） H18 Caricatures of the post-earthquake society as soon in Namazu-e（ウィーン大学における国際シンポジウム）
	①日本近世史：「鯰絵　－絵と文で伝える震災後の世相」、「寛政の改革から日露戦争終結までにおける錦絵（浮世絵）のマスメディアとしての役割」、「三富新田　― 川越藩による武蔵野の開発 ―」、「江戸時代の関所」、 ②日本近現代文学：「推理小説から	

	学：推理小説から読み解く戦後の日本」、「サブカルチャーを導いた澁澤龍彦」、「1970年 三島由紀夫と大阪万国博覧」、「坂口安吾の日本文化私観」	ム） H28「鯰絵「瓢箪鯰」の系譜」(秋篠宮文仁監修『ナマズの博物誌』) H30 ナマズ シンポジウム「ナマズを核にした地域おこし」(埼玉県吉川市) e) 麻疹絵 ― 感染病の流行と対応策を報じた錦絵 ― H14「文久２年の麻疹流行に伴う麻疹絵の出版とその位置づけ」(『文書館紀要』15号) R2 「江戸の「はしか絵」に学ぶ」(『東京新聞』令和2年11月18日 朝刊) R2 天声人語(『朝日新聞』令和3年2月5日 朝刊) R3 浮世絵にみる幕末の疫病と埼玉 ― 今日のコロナ感染状況対応と比較して―(行田市郷土博物館講演会) f) 上記以外の錦絵関係 H9「嘉永２年(1894)における江戸の流行仏と風刺画 資料編」(県立博物館『研究紀要』22号) H12「翻刻 広重・豊国・国貞画 観音霊験記」(速見侑監修『観音信仰辞典』) H27 内藤新宿の信仰～江戸末期の錦絵にみる太宗寺の閻魔と正受院の奪衣婆～(新宿区立四谷図書館講演会) H30 浮世絵版画で語られた忠臣蔵(大東文化大学ｵｰﾌﾟﾝｶﾚｯｼﾞ) g) その他 H11「歴史をあるく『新編武蔵風土記稿』の世界(一) 比企郡嵐山町」(歴史資料館『研究紀要』21号) H16「房川渡中田関所に関する基礎的考察」(川の博物館『紀要』4号) R1 埼玉の札所：秩父三十四ヶ所 ～坂東札所との比較検討の視点から～(大東文化大学ｵｰﾌﾟﾝｶﾚｯｼﾞ) R2「菅谷館・菅谷城理解のために ―文献史学の視点からの再検討―」(『県立史跡の博物館紀要』14号) R3「埼玉県域に関する十返舎一九の滑稽道中記『金草鞋』についての基礎的考察」(『さいたま文学館紀要』第2号) ④ 今年度の取り組み・メッセージ ※取り組み：令和８年春の企画展「(仮称)坂口安吾の日本論 ～日本文化私観～」の開催準備。 ※メッセージ：今年度は、**「1970年 先人が夢見た日本の未来 ～三島由紀夫とEXPO'70～」**、「澁澤龍彦をめぐる人々③ 坂口安吾」、「澁澤龍彦・三島由紀夫と岡本太郎の交流」 を捉え直し、発表していきたい。

黒田　千尋 くろだ　ちひろ	日本近世史	①　経歴・職歴 R3～歴史と民俗の博物館 学習支援担当 R5～同館 展示担当 R7～同館 特別展示・広報担当 ②　過去の実績 R3　県政出前講座「埼玉県域における江戸時代のくらしと文化－岩槻区域を中心に－」 R4　県政出前講座「徳川家康と埼玉県」 R5　特別展「鉢形城主 北条氏邦」副 R6　歴史民俗講座「北条氏邦の魅力に迫る」 ③　著作・研究実績等 H29「寺院アーカイブズの活用と地域社会」(『淑徳大学長谷川仏教文化研究所年報』42号) ④　今年度の取り組み・抱負・メッセージ 特別展「大名と菩提所」を担当します。ボダイショっておもしろい、と思っていただける展示にしたいです。 ⑤その他 食いしん坊です。今年度こそいちご狩りに行きたいです。
	宗教史 葬送儀礼	

木暮　咲樹 こぐれ　さき	日本近世史	①　経歴・職歴 R3.4～　埼玉県立文書館　古文書担当
 	近世の庶民の 旅、文化、信仰	②　過去の業務実績 R3　文書館埼玉150周年企画展「埼玉の黎明―渋沢栄一が目指した世界―」サブ担当 R4　収蔵文書目録第61集『古沢家文書目録(3)』編集 R5　文書館企画展「古文書を楽しむ―見方、読み方、調べ方―」主担当 R5　第13回埼玉県学芸員合同研究発表会 ミュージアムフォーラム「埼玉のお伊勢参り -文書館収蔵史料の事例から-」発表 R6　文書館企画展「本をめぐる文化―江戸時代の本屋と読者たち―」主担当 R6　講演「文書館収蔵史料にみる埼玉からのお伊勢参り」(「歴史に学ぶ埼玉からのお伊勢参り展」講演) ③著作・研究業績等 R3 「安政期における疫病除けの様子―林家文書の祈祷記録から―」(『文書館紀要』第35号) R5 「近世後期における毛呂本郷の人々の伊勢参宮―伊藤家文書の道中日記を中心に―」(『文書館紀要』第37号) ④　メッセージ 文書館勤務も5年目となりました。引き続き、古文書の受入、公開に向けての整理、展示などを担当します。文書館の資料を通じて多くの方に埼玉県の歴史や文化の魅力や面白さを知っていただけるよう努めるとともに、認証アーキビストとしても貢献できることを増やしていきたいです。 ⑤その他 寺社巡りが趣味です。県内の寺社に積極的に足を運んでいきたいと思っています。

中村　陽平 なかむら　ようへい	日本近世史	① 経歴・職歴 H27～歴史と民俗の博物館（展示担当）、R3～嵐山史跡の博物館（学芸担当）、R5文化資源課（指定文化財担当）、 R6～文化財・博物館課（指定文化財担当） ②過去の業務実績（展覧会・図録執筆を含む） H28 特別展「徳川家康」 H29 特別展「明治天皇と氷川神社」 H30 企画展「古文書 大公開!」 H31 企画展「北沢楽天と時事漫画」 R1 特別展「武蔵国の旗本」 R4企画展「武蔵武士と源氏」 ③研究業績等 ◆論文・研究ノートなど（直近・主なもの） H29 「御朱印地配分からみる近世鎌倉寺社領の成立と構造」（中野達哉編『鎌倉寺社の近世』 岩田書院） H29 「中山道板橋宿における伝馬役負担と宿開発」（『駒沢史学』89号 駒沢史学会） R3 「小藩陣屋支配における陣屋手代と「雇」役人」（『駒沢史学』95号 駒沢史学会） R3 「旗本を展示する」（『関東近世史研究』89号、関東近世史研究会） R3 「旗本菩提所の「成立」と護持―旗本水野家菩提所昌国寺を事例に―」（『埼玉地方史』83号、埼玉県地方史研究会） R5 「岡部藩半原領における領主と在地寺院」（中野達哉監修・駒澤大学近世史研究会編『近世三河と地域社会』岩田書院、2023） R6 「旗本水野家の葬送と菩提所・昌国寺」（歴史と民俗の博物館『紀要』18号、2024） ◆資料紹介・展示報告など（直近・主なもの） R2 「大木戸はあったのか―地域の歴史を読み直す―」（地方史研究協議会編『日本の歴史を原点から探る』文学通信） R3 「コロナ禍の博物館活動（『地方史研究』412号、地方史研究協議会） R4 「正法寺所蔵旗本水野忠貞奉納明版大蔵経について」（『埼玉県立史跡の博物館紀要』15号） R5 「茂田井石川家に伝わる由緒書の謎」（『葦のみち』33号、三郷市教育委員会） ◆口頭発表・講座など（直近のもの） R3 「旗本を展示する」（関東近世史研究会シンポジウム「旗本研究のこれまでとこれから」） R4 「昌国寺と旗本水野家」（鉢形城歴史館　令和4年春季企画展「昌国寺」歴史講座）
	藩領の地方支配	

小松和史 こまつたかふみ	日本近世史	①　経歴・職歴 R5.4～　埼玉県立歴史と民俗の博物館 ②　過去の実績（調査・展覧会運営・講演会等） 「春米商と素人勝手売買」（立正大学史学会大会、2023年） 「文政期における御正堰用水組合の同行−福田祀晴家文書を中心に−」（埼玉県地域研究発表会、2024年） 「城下町水車の取り決めを読む」（行田市郷土博物館令和6年度冬の古文書講座～初級・中級編～、2024年） ③　研究実績等 「文政・天保期における在方白米の勝手売買」（『立正史学　134号』、2023年） ④　今年度の取り組み・抱負・メッセージ 今年度より特別展示・広報担当になりました。埼玉県の歴史的な魅力についてお伝えできるよう精一杯努めます。
	米穀流通/渡世/問屋/水車稼ぎ	

田口　志織 たぐち　しおり	日本近世史	①経歴・職歴 ・R5.4～R7.3埼玉県立歴史と民俗の博物館（資料調査・活用担当） ・R7.4～埼玉県立文書館（史料編さん担当）
	近世の湯治、温泉	②過去の実績 ・R5　出張講座　あなたの街にも『れきみん埼玉』「ふつうの家からわかること」 講師（歴史と民俗の博物館） ・R6　新収集品展2022・2023（歴史と民俗の博物館） ③現在、取り組んでいる研究 ◆口頭報告 ・「秋田藩主の湯治についての一考察」（秋田大学史学会、2023） ◆研究実績・報告要旨・参加記等 ・「認証アーキビスト養成コース開設記念シンポジウム「アーカイブズ専門職拡充と大学の役割」参加記 ―「民主主義の根幹」を担う人材育成に向けて―」（『アーカイブズ学研究』第38号、2023年） ・報告要旨 「慶応二年秋田藩主の当時」（『東北近世史』第45号、2024年） ・「坂本家の信じた漢方薬－西多摩郡檜原村坂本家資料から－」（『歴史資料継承論叢』第2号、2025年） ④メッセージ 埼玉といえば文書館！というイメージを持っていた、憧れの職場に今年度から配属となりました。企画展「書類のなかの戦争」や『埼玉県史料叢書』の刊行等を担当します。文書館の収蔵史料の魅力をお伝えできるように頑張ります！そのほか、資料レスキューやアーカイブズにも興味があります。准認証アーキビスト（JCA-A2024081）。

<table>
<tr><td>山田拓実
やまだたくみ</td><td>日本近世史</td><td>①経歴・履歴
R7.4～　歴史と民俗の博物館（企画・学習支援担当）
②過去の実績（調査・展覧会運営・講演会等）
R5「近世後期武家社会における小笠原平兵衛家」（第64回日本史関係卒業論文発表会報告）
R6「近世中後期の旗本と加賀藩」（加賀藩研究ネットワーク例会報告）
③研究業績等
◆論文
R7「諸藩の公用通行と千住宿御用達」（『足立区立郷土博物館紀要』45号、2025年）
◆書評など
R6佐藤雄介・山田拓実など「2023年の歴史学会：回顧と展望（日本近世四　大名・藩政後期）」（『史学雑誌」133編5号、2024年6月）
R7「書評　篠崎佑太『近世後期の大名家格と儀礼の政治史』」（『日本歴史』925号、2025年6月採録決定済）
④今年度の取り組み・抱負・メッセージ
企画・学習支援担当として、甲冑の着装や勾玉作りなどの体験学習を担当しています。体験を通じて、少しでも多くの皆さまに歴史の面白さを感じていただけるように努めたいと思います。
⑤その他
R6　准認証アーキビスト</td></tr>
<tr><td> </td><td>近世後期幕藩関係の研究、特に旗本と大名の交際など</td><td></td></tr>
</table>

伊藤　由佳 いとう　ゆか	日本近世史	①経歴・職歴 R7.4～　埼玉県立文書館　古文書担当 ②過去の業務実績 R4.11　県庁渡り廊下パネル展示「ようこそ、ミニ文書館へ！−収蔵資料から分かる埼玉−」(文書館) ④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 今年度、新規採用となりました。古文書の掲載許可、古文書講座などを担当します。 大切に伝えられてきた資料を守るとともに、皆さまの学びをお手伝いできるよう努めます。
	豪農層と地域社会の関わり	

井上　かおり いのうえ　かおり	日本近代史	①　経歴・職歴 歴史資料館、民俗文化センター、県文化財保護課、県立博物館、県文化資源課、平和資料館、文書館を経て、令和6年度から歴史と民俗の博物館に勤務。
 幕末維新史、特に近代日本が成立するまでの過程など		②　過去の業務実績 H21「いただきます～食の文化史～」展運営（歴史と民俗の博物館） H27「小室家文書展－在村医のまなざし－」展運営（文書館） R3「埼玉再建！－『埼玉メガホン』と復興の時代－」展運営（平和資料館） R4「戦争と学校－子供たちのたたかい－」展運営（平和資料館） R4 東松山市きらめき市民大学講座「東松山市の近代」講師 R5 県政出前講座 「文書館で学ぶ浦和宿の近現代」講師 R6 講座「日本史のなかの埼玉県－近代日本と埼玉県－」講師 ③　研究業績等 H15「『評議録』に見る創業期の日本煉瓦製造株式会社」研究紀要第17号（文書館） H21『名栗の歴史（下）近代・現代』（共著）（飯能市郷土館） H29「『暴徒一件書類－埼玉県入間・高麗郡役所－』について」研究紀要第12号（歴史と民俗の博物館） H30『近現代展示室の現状と課題－リニューアル10年目の検証にかえて－」研究紀要第13号（歴史と民俗 の博物館） R4『日本史のなかの埼玉県』（共著）（山川出版社） ④　メッセージ 今年は大宮駅と大宮公園誕生140年、昭和100年、戦後80年。さらに日航機墜落から40年、阪神淡路大震災から30年でもあり、不思議なめぐり合わせを感じています。 ⑤　その他 猫とスポーツ観戦（主に野球）と近代建築探訪が好きです。

木村　遼之 きむら　りょうじ	日本近現代史	①経歴　H28～埼玉県立文書館古文書担当、H31～同館公文書担当 R4～歴史と民俗の博物館企画担当、R6～展示担当、R7～特別展示・広報担当 ②過去の業務実績 ・H28　収蔵古文書目録第56集『黒田(小)家文書・諸家文書Ⅸ目録』編集 ・H29　文書館コーナー展「新公開　黒田(小)家文書・諸家文書」 ・H29　講演「黒田家と熊谷」 ・H29　いきがい大学川越　歴史・郷土を学ぶ科　講師「埼玉県の文化財と世界遺産」 ・H29　明治150周年記念県製作映画『埼玉の明治維新』製作協力 ・H30　講演「埼玉の明治維新」 ・H30　歴史と民俗の博物館人物展「文明開化の先駆者　清水卯三郎」 ・H30　収蔵古文書目録第57集『青木家文書目録』編集 ・R1　文書館企画展「熊谷の記録と文化」 ・R1　アーカイブズカレッジ「埼玉県立文書館における構造把握の実践」講師 ・R3　文書館企画展「埼玉スポーツものがたり」 ・R4　講演「秩父事件とは何か」 ・R4　歴史と民俗の博物館特集展示「新編武蔵風土記稿と文化財」 ・R5　講師「清水卯三郎の生涯」など ・R6　特別展「鷹のおでまし一鷹狩の美術―」副担当、図録の一部を担当 ③メッセージ 文書館では資料保存、整理や展示のほか、公文書の管理やシステムなども経験させていただきました。 博物館では、大宮公園を中心とした地域連携に取り組みます。
	近代日本の文化財保護	

鈴木　一史 すずき　かずふみ	日本近現代史	①経歴・職歴 R02年度～　県立歴史と民俗の博物館　学習支援担当　学芸員（主事級） R03年度～　県立歴史と民俗の博物館　資料調査・活用担当　学芸員（主事級、主任級） R06年度～　県立文書館　史料編さん担当　学芸員（主任級） R07年度～　県民生活部県民広聴課　総務・企画担当（平和資料館駐在）　主査 ②過去の実績（調査・展覧会運営・講演会等） H21　特別展「大田黒元雄の足跡　西洋音楽への水先案内人」（杉並区立郷土博物館） H25　特別展「辻村伊助　アルプスに挑んだ小田原の登山家」（小田原文学館） H29　特別展「小田原城址の150年　モダン・オダワラ・キャッスル1868-2017」（小田原城天守閣） H30　特別企画展「昭和館で学ぶ『この世界の片隅に』」（昭和館） R02　企画展「新収集品展2018・2019」（県立歴史と民俗の博物館、一部展示資料選定・解説分担執筆） R02　講演「街道と旅 埼玉と鉄道の近現代史」（埼玉未来大学 ライフデザイン科） R03　開館50周年記念事業展示「博物館のあゆみ」（県立歴史と民俗の博物館、年表作成・写真選定） R04　「新収集品展2020・2021」（県立歴史と民俗の博物館） R05　講演「埼玉と鉄道 -川越に鉄道が通った日-」（出張講座 あなたの街にも「れきみん埼玉」） R06　企画展「みんなの学校(まなびや) -教育史編さんと学校アーカイブズ-」（県立文書館） R06　講演「東松山に明治維新がやってきた -埼玉の歴史と東松山-」（東松山市きらめき市民大学公開講座） R06　講師「官省誌を読む」（県立文書館令和6年度古文書解読講習会） R07　講演「書類のなかの戦争 -埼玉県立文書館収蔵資料からみる太平洋戦争-」（第14回埼玉県学芸員合同研究発表会） ③著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など H25　「戦争の記憶継承と博物館　明治大学平和教育登戸研究所資料館をめぐる研究動向から」（『人民の歴史学』195） H28　「MLA連携における学芸員の役割　小田原市立図書館での実務経験から」（『記録と史料』26） H28　「2016年度歴史学研究会大会報告批判　近代史部会」（『歴史学研究』952） H30　「戦争を描けなかった紙芝居-戦時下の教育紙芝居をめぐる議論から」（『国策紙芝居からみる日本の戦争』） R03　「翼賛文化運動の戦中と戦後-加藤芳雄旧蔵埼玉県翼賛文化連盟関係資料から―」（『歴史と民俗の博物館紀要』15） R03　「資料「活用」の仕事　-特別利用の現場から-」（『AMUSEUM』46） R04　「「新収集品展 2020・2021」余録 ー展示資料からー」（『AMUSEUM』49） R04　「紙芝居からみる戦時下の社会意識 -埼玉県平和資料館所蔵作品から-」（『歴史と民俗の博物館紀要』16） R05　「序論　時代考証にとって現実とはなにか」（『明治・大正・昭和の時代劇メディアと時代考証』） R05　「「川口市戦時下生活関係資料」について」（『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』17） R05　「インタビューからみる「風布の回り念仏」（秩父郡長瀞町）」（『巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅴ』） R06　「戦争と素人演劇 -大政翼賛会日東村支部「台本『慰問隊（一幕）』」から-」（『歴史と民俗の博物館紀要』18） R06　「「あなたに貸すのです」-資料貸出業務の現場から-」（『AMUSEUM』53） R07　「解説　「埼玉県行政文書」と「官省誌」の概要」（『埼玉県史料叢書28 官省誌一 埼玉県「東京出張所」文書』） R07　「戦争が宿命になるとき -戦時下の教育紙芝居作品から」（『視覚文化は何を伝えるか』） ④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 埼玉県平和資料館における収蔵品展・寄贈資料展・ギャラリー展、資料受入・寄託更新・貸出、資料保存等を担当します。 新たな配属先で、埼玉の近現代史にかかわる資料についての知見をさらに深めていきたいと考えています。
	アジア太平洋戦争期の大衆文化	